



2018年10月2日

各 位

会社名 株式会社 ライトオン  
 代表者名 代表取締役社長 川崎 純平  
 (コード: 7445 東証第一部)  
 問合せ先 管理部長 奥西 隆行  
 (TEL: 029-858-0321)

### 特別損失の計上並びに通期個別業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、2018年8月期(2017年8月21日～2018年8月20日)において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、2018年4月3日に公表しました2018年8月期の通期個別業績予想と実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の内容

当社は、2018年8月期第4四半期会計期間(2018年5月21日～2018年8月20日)において、閉店を決定した店舗及び収益性の低下がみられた店舗について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失291百万円を計上いたしました。

なお、2018年8月期第3四半期累計期間までに既に計上しております減損損失計上額を含めた2018年8月期の減損損失は、345百万円であります。

#### 2. 2018年8月期通期個別業績予想数値との差異(2017年8月21日～2018年8月20日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2018年4月3日)	77,000	1,200	1,150	150	5円45銭
今回発表実績(B)	76,623	1,370	968	298	10円85銭
増減額(B-A)	△376	170	△181	148	
増減率(%)	△0.5	14.2	△15.8	99.0	
(ご参考) 前期実績(2017年8月期)	80,028	△2,849	△2,888	△4,421	△161円40銭

#### 3. 差異発生の理由

シーズン立ち上げ期の春物や夏物の好調な推移などがあったものの、下半期最大の商戦であるゴールデンウィーク期間においても客数を伸ばすことができなかつたことなどにより、売上高は前回予想を下回る結果となりました。

利益につきましては、値下げロスを抑えられたこと、経費削減に努めたことで、営業利益は1,370百万円と計画を上回ったものの、子会社への貸付金に対する貸倒引当金251百万円を計上したこともあり、経常利益は968百万円となりました。

また、営業系機能の移転に伴い、経営資源の有効活用を図るため、本社ビルの土地・建物を譲渡したことに伴う固定資産売却益367百万円を計上したこともあり、当期純利益は298百万円となりました。

以上